

# Weekly Report



令和7年11月25日(火)

第2221回例会



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブの例会は、世界に目を向けようという思いで、ここからスタートしています。初めは、少しの不安や緊張も、少しずつ慣れてくると、心から笑顔が溢れ、清々とした気持ちになります。これからも、お互いに支え合い、成長を遂げていきましょう。

◆ 会長／山口 篤 ◆ 幹事／玉井 智春 ◆ 会報／中島 眞一

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第2221回例会記録 令和7年11月25日(火) 19/46回

<点鐘> 山口会長  
<ソング> 四つのテスト

<お客様ご紹介> 山口会長  
国際ロータリー第2590地区 ロータリー財団奨学金学友委員会副委員長 川崎鷺沼RC 川原俊明様、ロータリー財団学友 丸山拓様

<会長報告> 山口会長  
1. 『米山奨学生を囲む集い』開催の案内  
12/21(日)17:00～19:00 ホテルプラム  
2. 第41回RYLA能登復興リーダーズキャンプ参加者募集の案内  
3/20(金)～22(日) 石川県能登半島

<幹事報告> 玉井幹事  
\* 当クラブ例会・案内  
12/2(火) 年次総会  
12/9(火) 半期を省みて 幹事  
12/16(火) 委員会報告 財団セミナー  
12/30(火) 定款細則による休会  
\* 近隣クラブ例会変更・案内  
川崎麻生RC

<ニコニコ委員会> 北島裕斗委員  
国際ロータリー第2590地区 ロータリー財団奨学金学友委員会副委員長 川崎鷺沼RC 川原俊明様→

「本日、ロータリー財団月間に財団学友をお招きいただきありがとうございます。よろしく願い申し上げます」。当クラブより、山口会長→「国際ロータリー第2590地区ロータリー財団奨学金学友委員会副委員長 川崎鷺沼ロータリークラブ川原俊明様よろしく願いいたします」。玉井幹事→「ロータリー財団学友の丸山拓様本日の卓話宜しく願い致します」。大矢会員→「来年のカレンダーお使い下さい。私の作品が総理官邸で高市総理からお礼状を頂きました」。親松会員→「母の葬儀はありがとうございました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、福家会員、土井会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、石貝会員、伊藤久史会員、鴨志田新会員、菊池会員、小島会員、小塚会員、松野会員、森会員、中島眞一会員、中村会員、嵯峨野会員、嶋会員、白井克典会員、菅会員、鈴木清会員、俵会員、渡邊会員、北島裕斗会員。

<出席委員会> 赤本委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第2221回	51	31	20		60.78%
第2220回	51	28	23	6	66.67%

第2223回 12月9日 半期を省みて 幹事  
第2224回 12月16日 委員会報告 財団セミナー  
第2225回 12月23日 親睦家族会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

## <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	39,000円	600件	671,000円
財団	0件	0円	15件	206,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	147,000円
米山	0件	0円	20件	236,000円

### 本日のプログラム

#### <招聘卓話>

ロータリー財団奨学金学友委員会副委員長 川原俊明様より卓話者のご紹介

本日はロータリー月間卓話に財団学友をお招き頂きありがとうございます。来年留学する奨学生の募集について地区ホームページに掲載されておりますので、そちらもどうぞご確認下さい。

この後丸山さんより何をどこでどのように学んだのかお話しして頂きます。お楽しみください。



#### ロータリー財団学友 丸山拓様

本日は「ロータリークラブに支えられたフロリダ留学～素材の力で社会を支える～」という内容でお話しさせて頂きます。私はフロリダ大学の博士課程に留学しそこで材料科学工学を学び、コロナ禍が始まろうかという2020年に帰国しました。出身は横浜市鶴見区です。留学の際は横浜鶴見北RCにホストクラブとなって頂きました。留学時はフロリダのゲインズビルRCの皆さまにお世話になりました。

私が材料科学工学を学んだ理由についてお話ししたいと思います。私は中高生の頃から環境問題に興味がありました。世界中のゴミ問題、二酸化炭素による地球温暖化、それに伴う砂漠化の問題をどのように解決すればいいのか考えた時に技術的な課題が大きいのではないかと考えました。しかしそのために何を学ばいいのかかわからない状態だったのですが、大きなニュースが飛び込んできました。それが2014年青色発光ダイオード(LED)で日本人3氏がノーベル賞を受賞したニュースです。LEDが使われることによってエネルギーの消費が抑えられ、持続力も長くなり照明事情が一

気変わったという素晴らしい発明でした。これを成し遂げたのが材料科学工学と知った時に私自身もこれを学び、社会問題を根幹から解決するような技術を学びたいと思い、材料科学工学の中の一分野であるセラミックスを専攻することに決めました。セラミックスは半導体、宇宙分野、建築、医療様々などところで使われています。どこでこの分野を研究できるか調べた時に見つけたのがフロリダ大学の研究室でした。セラミックスを使って電池、原子力、エレクトロニクス等様々な分野に適用させる研究をしていることを知り、コンタクトを取りました。この研究室に所属するために博士課程に入る必要がありました。これに入れたのはロータリー財団の奨学生として奨学金を得られたことが大きいです。アメリカの博士課程に入学するために重要な要素として①成績、②推薦状、③財政証明が必要です。フロリダ大学では燃料電池の研究をしていました。燃料電池は酸素と水素を反応させて直接電気を取り出すことができる発電機の一つです。燃料電池の利点は二酸化炭素が出ず、燃料効率がとてもいいので化石燃料に比べてクリーンだということです。この材料としてセラミックスを使っているの、そのプロセスの研究をしていました。現在は三菱ケミカルという会社で医療、通信向けの材料を開発し社会問題を解決する研究をしています。化学工業日報という新聞に私が関わった材料を取り上げて頂き、私がやりたかったことが実現してきました。

15年前にやりたかったことが財団の奨学金を通して、実現できていることについてロータリークラブに感謝しております。しかし社会課題はまだまだあり私が学んだ材料科学の観点でこの課題を解決するために努力していきたいと思います。



#### <点鐘>

#### 山口会長

